

総合教育会議資料 「コミュニティ・スクール導入に向けた取組」

平成 29 年 6 月 1 日

コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置している学校です。「学校運営協議会制度」とも言います。

1 これまでは

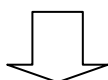
- ①学校評議員制度（校長の求めに応じて、学校運営に意見を述べるができる）
- ②学校関係者評価委員（学校の行った自己評価の妥当性を評価する）
- ③学校支援地域本部事業（地域住民等が学校の求めに応じて、様々な学校支援活動を実施する）



「地域に開かれた学校」

2 コミュニティ・スクールのねらい

- ①学校運営協議会は、校長や教職員の異動に影響されない「持続可能な仕組み」
- ②学校運営協議会を通して、子供の課題や地域でどのような子供を育てていくか、何を実現していくかという「目標・ビジョンの共有」
- ③目標・ビジョンの共有により、関係者が当事者意識を高め、「連携・協働による取組」



学校と地域が連携・協働し、当事者意識を持って子供たちの成長を支えていく学校
「地域とともにある学校」への転換

学校運営協議会とは

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第 47 条の 6」(H16 制定・H29 改正)に基づき

1 構成

保護者や地域の代表者、対象学校の教職員など

2 役割

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認する(必須)
- ・学校運営について、意見を述べるができる
- ・教職員の任用に関して意見を述べるができる

※学校運営の責任者は校長であり、学校運営協議会が校長に代わり学校運営を決定・実施するものではない。

3 設置のためには

- ①教育委員会が「学校運営協議会規則」を定める
- ②教育委員会が協議会を置く学校を指定 → 「協議会を置くように努めなければならぬ」 = 努力義務化(H29年4月)
- ③学校運営協議会規則に基づいて、教育委員会が任命

先行地域の状況

1 指定校(対象校)数

全国：2806校（H28年4月）

全道：64校（H28年4月） → 165校(H29年4月)

2 主な成果

- ①学校と地域が情報を共有するようになった
- ②地域が学校に協力的になった
- ③特色ある学校づくりが進んだ
- ④学校関係者評価が効果的に行えるようになった
- ⑤地域と連携した取組が効果的に行えるようになった など

千歳市の取組

1 これまでの取組

平成28年12月 「千歳市コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)調査研究実施要領」
決定

平成29年 1月 調査研究校指定 **高台小**(市街地小)、**青葉中**(市街地中)、**駒里小中**(群部校)

【調査研究内容】

- (1) 学校運営協議会委員の選任に関すること
- (2) 委員や学校の制度理解推進に関すること（研修・視察等）
- (3) 先行類似制度（学校評議員・学校関係者評価委員・学校支援地域本部事業等）との関係に関すること
- (4) 校内体制や作業部会など活動推進のための組織に関すること
- (5) 活動の情報発信に関すること
- (6) 成果や課題の取りまとめ方法と活用に関すること（視点・指標等）

2月23日 第1回指定校会議

5月18日 第2回指定校会議

・現段階での取組状況 ～ 別資料

2 今後の主な予定

・視察研修 ～ 7月26・27日東京都三鷹市、世田谷区視察

駒里小中学校は、道内の同規模校を対象に別途実施

- ・研修会 ～ 「千歳市地域とともにある学校づくり学習会～コミュニティ・スクールの導入に向けて」(8月28日(月)18時～19時30分 総合福祉センター)
文部科学省のCSマイスターの派遣を受け、調査研究指定校のみならず、市内全小中学校の職員・保護者をはじめ市民に広く参加を呼び掛ける。
 - ・調査研究に関する情報発信 ～ 調査研究の状況等、市内小中学校を通して保護者・地域へ(調査研究校・教育委員会)
 - ・中間報告書の提出(10月) ⇨ 「千歳市学校運営協議会規則」決定(12月) ⇨ 千歳市学校運営協議会設置校募集(3校に限らず市内全校対象)・調査研究指定校は正式の学校運営協議会設置校として活動継続(平成30年1月以降) ⇨ 最終報告書の提出
- ※調査研究結果を生かし、コミュニティ・スクールの導入拡大へ

別資料

第2回指定校会議開催時点での各調査研究指定校の取組状況

	高台小	青葉中	駒里小中
協議会委員	学校評議員(5名)、町内会長(1名)、PTA役員(2名)、学校職員(4名) 計12名 4月中に依頼し、承諾を得る。 第1回学校運営協議会 5月11日(木)18:00～本校校長室にて開催	(構成) 学校評議員 4名 PTA役員 2名 2地区コミュニティ協議会 2名 2地区民生児童委員協議会 2名 校区小学校職員 2名 (状況) コミュニティ協議会、民児協は選定中(承諾済み) (予定) 6月、10月、2月 3回開催予定	・PTAから2名(確認済み)、地域(駒里連合会)から2名(確認済み)、学校評議員から2名、学校から2名(これから選出)を校長名で招集する方向で動きます。 ・6月の評議員会で2名お願いしたいお話をさせて頂き、夏休み明けに1回目の会議(顔合わせ)、これ以降については、教育委員会の規約ができるのを待って正式に運用していく形を考えています。
校内体制	教務部、生徒指導部より各1名が担当 教務部・・・情報発信等を担当予定、生徒指導部・・・地域関係団体等との連携を担当予定	学習指導部にCS係を設置。 校内4分掌にて、推進可能な内容を検討。 今後、企画し実施。	・小学校から1名、中学校から1名を考えています。

活動の見通し	<p>①学校教育活動の実態把握・・・1年生を迎える会、参観日等の学校行事への参観、感想の提出</p> <p>②地域との連携・・・町内会総会、花壇整備等の地域行事への参加</p> <p>③9月、2月に運営協議会を開催</p>	<p>①1年総合的な学習「地域学習（市民憲章学習）」における講義</p> <p>②全校道徳における講演</p> <p>③青葉フォーラムの実施（民生委と生徒会役員との討議）</p> <p>④校区町内会ゴミ拾い活動への、生徒会による生徒への参加呼びかけ</p> <p>⑤土曜授業における地域住民と生徒協働による「避難所運営訓練」の実施</p> <p>⑥中学校区図書ボランティア交流</p> <p>⑦生徒会活動「GB（ごみ拾い活動）」への参加について、町内会へよびかけ</p>	<p>・地域連合会については、概ね良好な受け止めをされていること、PTAについては、地域の中に含まれてしまいますが、地域で子育てをするという意見には賛同頂いています。基本方針として「家庭で育て、学校で教え、地域で鍛える」を考えています。</p>
情報発信	<p>①保護者、地域（9町内会）、富丘中学校区の学校、千歳中学校区の学校等へ発信</p> <p>②発信媒体・・・学校便り、HP、「コミスク通信」（仮称）等</p> <p>③今後、随時発信予定</p>	<p>・学校教育説明会における説明（保護者）</p> <p>・市教委コミュニティスクール研究指定の情報発信（学校だより 校区全戸）</p> <p>・CS 加配の情報発信（学校だより 校区全戸）</p>	<p>・学校だよりや連合会だよりなど、地域全戸に配布されています。</p>
その他	<p>①事業推進に係る予算と執行方法について</p> <p>②従前の学校評議員・学校関係者評価委員会との関係について</p>	<p>小中一貫を目指した小中連携の深化</p>	